



▲保健センターに設置されているAED

AEDって何？

AED（自動体外式除細動器）とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

2004年7月より医療従事者ではない一般の方でも使用できるようになり、空港、駅、学校、公共施設、企業等人が多く集まるところを中心に設置されています。

AEDは、操作方法を音声ガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。

また、心臓の動き（心電図）を自動解析し、電気ショックが必要な方のみ電気ショックを流す仕組みになっているので、安心です。

最近では、一般の方がAEDを使用して救命した事例も増えてきました。

町内のAED設置箇所

AEDの設置場所を知っておくことで、速やかな救命措置を開始することができます。

AED設置箇所周辺で、人命救助の場面に遭遇したときのために、携帯電話などに電話番号を登録しておきましょう。

■大崎町役場	476-1111
■保健センター	476-1111
■大崎町総合体育館	477-2006
■あすばる大崎	471-6666
■くにの松原キャンプ場	476-3611
■大崎小学校	476-0027
■大崎中学校	476-0013
■大丸小学校	476-0044
■中沖小学校	477-0710
■持留小学校	476-1722
■菱田小学校	477-0504
■菱田中学校	477-0521
■野方小学校	478-2005
■大崎第一中学校	478-3740

AED講習について

南部消防署では、AEDの使い方の方の指導を行っています。

AEDは、だれでも利用することができますが、使い方について、集落やお勤めの会社などで、指導を受けたい場合は、下記までお問い合わせください。

■大隅曾於地区消防組合
 南部消防署
 志布志市有明町野倉 8299-7
 TEL 099-477-0119

AEDによる除細動



電極パッドのコネクタをAED本体へ接続する
 ■心電図の解析が始まります。解析中は、患者から離れるように指示する。



AEDが届いたらすぐ使用します。

■電源を入れる。以降は、AEDの音声ガイドに従って操作を行います。
 ■ふたを開けると自動的に電源が入るものもあります。



■AEDが電気ショックを加える必要があると判断すると、「ショックが必要です」などのメッセージが流れ、自動的に充電が始まります。充電が完了すると「ショックボタン」（通電ボタン）を押してくださいの音声後、ショックボタンを押します。

■電気ショック完了後は、心肺蘇生法を再開し、救急隊を待ちください。



パッドの図に従い、粘着テープを剥がして、電極パッドを装着します。

・ポイント

■心臓をはさむように、右の鎖骨の下と左脇の部分に貼る。

■体が濡れていると通電に障害があるため、体をきれいにふき取る。

■ネックレスなど金属製のものは、火傷の原因になるため外す。